

Windows Server 2019 をお使いの方へ

C78024000

本書では、購入時の作業や Windows Server 2019 の再インストール方法（リカバリーメディアの使用法）などについて記載しています。

購入時の作業

購入時、はじめて本機の電源を入れると Windows Server のセットアップが開始されます。画面の指示に従って、セットアップを行ってください。


セットアップ中にプロダクトキーの入力を求められたら、本機側面に貼付されている COA ラベルのスクラッチ部に記載のキーを入力してください。



参考

サウンド機能を使用する

サウンド機能を使用する場合は、オーディオサービスを有効にしてください。

画面右下通知領域の  (サウンドアイコン) を右クリック - [サウンド]
- [はい] - [OK]

サーバーマネージャー

Windows Server には、サーバーの設定をするための「サーバーマネージャー」が用意されています。

サーバーマネージャーは次の場所から起動してください。

[スタート] - [サーバーマネージャー]

Windows Serverバックアップ

Windows Server には、システムのバックアップを行うための「Windows Server バックアップ」が用意されています。詳しくは、次の場所をご覧ください。

バックアップの作成方法

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?37263>

バックアップからの復元方法

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?37264>

ハードウェア監視ツール(SuperDoctor)

購入時、本機にはハードウェア監視ツールがインストールされていません。

Supermicro 社のハードウェア監視ツール「SuperDoctor」を、必要に応じて次の場所からダウンロードし、インストールしてください。


<https://www.supermicro.com/ja/solutions/management-software/superdoctor>

※ SuperDoctor についてのお問い合わせ先は、ダウンロードページ内の情報をご覧ください。

システム診断ツール/HDD消去ツール

本機のHDD内の「Windows 回復環境 (Windows RE)」には、システム診断ツールとHDD消去ツールが用意されています。

ツールは次の場所から起動します。

[スタート] -  (設定) - 「更新とセキュリティ」 - 「回復」 - [今すぐ再起動] - 再起動後、「オプションの選択」画面で「トラブルシューティング」 - 「EPSON UTILITY」

制限

- Windows Server の再インストールを行うと、システム診断ツールと HDD 消去ツールは削除されます。
- HDD 消去ツールによるデータの消去の結果について、当社および開発元の Ultra-X 社は責任を負いません。HDD のデータ消去・廃棄はお客様の責任において行ってください。

Windows Serverの再インストール

Windows Server の再インストール方法について説明します。

再インストール前の作業

再インストール前に必要な作業について記載します。

データをバックアップする (重要)

HDD に保存されている設定やデータは、Windows Server の再インストールを行うと消えてしまいます。必要に応じて再インストールの前にバックアップを行ってください。

ドライバー / アプリのダウンロード

ドライバー / アプリは次の場所からダウンロードして、USB 記憶装置などに保存しておいてください。

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/dl/app/servlet/qadoc?37265>

本機を購入時の状態にする

周辺機器が接続されていたり、UEFI の設定値が変更されていたりすると、正常にインストールが行われない可能性があります。本機を購入時の状態に戻してから再インストールを行ってください。

記憶装置を取り外す

記憶装置（HDD や USB 記憶装置）が複数接続されていると、Windows Server のインストール中にドライブの順番が異なって表示されることがあります。

データの誤消去を防ぐため、Windows Server をインストールする記憶装置以外は一旦取り外してください。

※ RAID 構成時、この作業は不要です。

暗号化を解除する

Windows Server の暗号化機能で暗号化を行っている場合は、再インストールの前に解除してください。

暗号化を行ったまま再インストールは実行できません。

Windows Server をインストールする

Windows Server のインストール方法は、次のとおりです。

※ コンピューターに光ディスクドライブが搭載されていない場合は、外付けの光ディスクドライブを用意してください。

※ 再インストールを行うと、システム診断ツールと HDD 消去ツールは削除されます。

- 1** リカバリーメディアを光ディスクドライブにセットします。
- 2** コンピューターを再起動し、すぐに **[F11]** を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。
- 3** Boot デバイスを選択する画面が表示されたら、**[↑]** **[↓]** で「光ディスクドライブの型番を選択し、**[←]** を押します。
- 4** 黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、すぐにどれかキーを押します。
- 5** 「Windows Boot Manager」画面が表示された場合は、**[Windows Setup [EMS Enabled]]** を選択し、**[←]** を押します。

以降は、画面の指示に従って、インストールを行ってください。

・「インストールするオペレーティングシステムを選んでください」と表示された場合は、購入時に選択されたエディションのデスクトップエクスペリエンス版を選択してください。

・「Windows をインストールする場所を選んでください」と表示されたら、「Windows」と表示されているパーティションを選択して「削除」してから、「次へ」を選択してください。

セットアップが完了し、デスクトップが表示されたら、リカバリーメディアを取り出します。

これで Windows Server のインストールは完了です。

記憶装置を接続する

インストール前に記憶装置を取り外した場合は、元どおりに取り付けてください。

ドライブを作成する


Windows Server のインストール中にパーティション分割をした場合、データドライブはそのままでは使用できません。ドライブ文字を割り当てると使用できるようになります。

ドライブ文字の割り当ては次の場所で行ってください。


[スタート] を右クリック - 「ディスクの管理」 - データドライブの領域を右クリック - 「ドライブ文字とパスの変更」

ドライバー / アプリをインストールする

Windows Server のインストールが完了したら、ドライバー / アプリをインストールします。

- ・ 事前に USB 記憶装置等にダウンロードしたデータ (p.2) を使用して、ドライバー / アプリをインストールしてください。
- ・ SuperDoctor のインストール方法は  p.2 をご覧ください。

このほか周辺機器のドライバーやお持ちのアプリなど、必要に応じてインストールしてください。

※ サウンド機能を使用する場合は、オーディオサービスを有効にしてください。  p.1